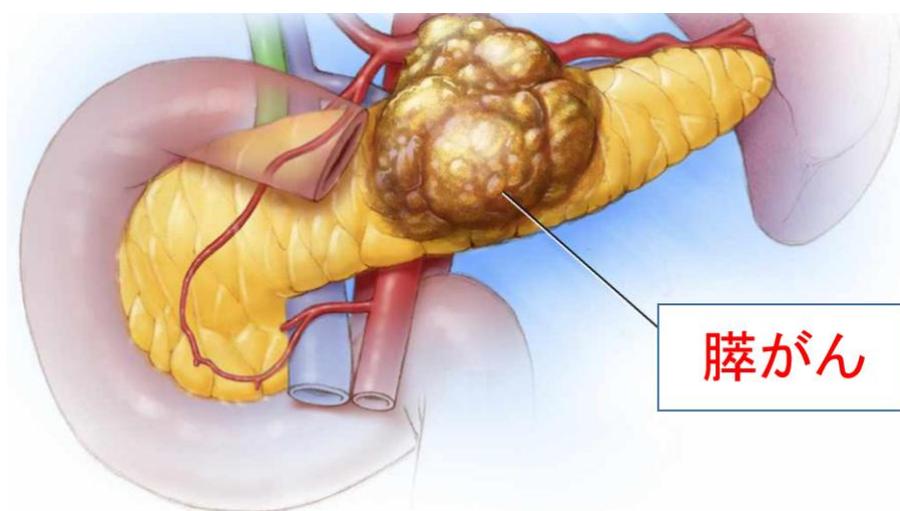


糖尿病患者のアスピリン常用と 膵がんリスクの低下について

アスピリンの常用により糖尿病患者の膵がんリスクが低下する可能性があることを示す研究結果が、米国のグループにより *Gastroenterology* 誌に掲載されました。



延べ 420 万人・年の追跡期間中に発症した膵がん 1,122 例を解析した結果、糖尿病患者のアスピリン常用は膵がんリスク低下と関係していました（相対リスク 0.71、95%CI 0.54~0.94）。

